

【事業名】

地域主体の移住相談所整備事業

【事業の目的】

寄島町国頭地区は、山側の道路が狭く、駐車場が確保できないため、働き世代の定住率が低下した結果、若年層の減少が著しく、空き家が増加しているという課題が明確になっており、高齢化率と若年層の同居世帯率で比較したところ、市内でも深刻な状況ということが判明している。

このため、平成28・29年度において、県内の大学生を公募し、空き家の整備や活用イベントの企画を協働して行っていくことで、今後のより具体的な空き家活用に向けた検討を行ってきた。また、地区住民の意見交換会では、空き家を活用した身近な集いの場や移住者の受け入れによる地域活性化を望む声も多く聞かれた。

このため、地区中心部にある空き店舗を改修し、住民のコミュニティ拠点として活用するとともに、空き家物件情報を収集・整理し、移住希望者への紹介や地区の案内等を行う移住相談窓口の機能を有する拠点として整備することで、高齢者を中心とした住民の外出機会の創出、生きがいづくりによる健康寿命の延伸、介護予防等につなげるとともに、若者を中心とした移住者の受け入れにもつなげ、住民が主体となった持続可能な地域づくりに取り組んでいく。

【役割分担】

提案団体・・・空き家の調査、移住者受入れ体制整備

意見交換会の企画・運営

浅 口 市・・・地域創造課・まちづくり課

・先進事例等の情報提供

・専門家とのマッチング

【事業実績】

◎拠点整備の実施

旧寄島ランドリー空き店舗をコミュニティ拠点として活用するため、平成16年の台風16号の冠水により使用できなくなっていたトイレ周りの給排水衛生設備及び天井の改修並びに備品整備等を行い、コミュニティ拠点の情報発信場所の確保及び日常的に地区住民に開放できる拠点を整備した。

◎空き家実態の確認

以前調査した国頭地区の空き家に関する実態について、再調査を実施した。

その結果、ここ数年で空き家に入居されている方が3軒ありましたので、空き家の数は増加していませんが、1人住まいの高齢者世帯が増加してきており、近い将来の空き家候補が増えつつある実態が把握できた。

◎移住促進勉強会の実施

移住促進先進地区でコーディネーターとして活躍されている高梁市在住の佐藤氏を講師にお招きして、旧寄島ランドリー空店舗を会場として、移住促進に関する勉強会を実施した。

国頭地区以外からも多数の参加者があり、移住促進に関する取り組み方及び実情並びに課題点等について、説明をしていただき、今後の参考となった。

◎日常的な拠点開放実績

拠点（旧寄島ランドリー空店舗）を使って地区敬老会を実施し、例年以上の参加者があった。

今までは、会場が公会堂2階だったので、足が悪いことから遠慮していけなかったが、拠点だと車いすでも来られるので、これからも参加したいとのご意見もいただいた。

◎イベントと先進地区との情報交流会の開催

寄島中学校吹奏楽部によるミニコンサートを実施。

ミニコンサート後に、移住促進先進地区である、高梁市宇治地区まちづくり推進委員会の方々9名を招いて、交流会を実施。

国頭地区の空き家活用プロジェクトに関する今までの取り組みについて紹介を行い、宇治地区からは移住者支援団体の取り組みやもち麦栽培を通して町おこしをしている内容について発表していただいた。

【事業の成果】

旧寄島ランドリー空店舗を地区の拠点として整備できたことで、まずは地区行事への利活用等の日常使い及びイベント開催を行うことができた。

地区住民が気軽に立ち寄れる場所として、今回の事業を行ったことにより、地区住民に対して旧寄島ランドリー空店舗がただの空き家ではなく、地区の拠点として認知を得ることができた。

